

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	事業所と地域のつながりがまだまだ出来ていないと言えない。	いろいろな地域の方々とのネットワークを構築していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域体操に参加し地域の方と交流を図る ・地域の方の畑をお借りして利用者様が土に触れられる機会を作る ・町内会の会合等に参加しグループホームの存在を理解して頂く ・地域の老人会に利用者様が参加できるよう連携を図っていく 	3～6ヶ月
2	13	それぞれが「グループホームケア」に対する意識または知識を高めていかなければならない。	スタッフ一人ひとりがこのグループホームを自分が作り上げていくという自覚を持って仕事に取り組んでいく。	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の目標達成のために職員面接を行なう ・勉強会や社内外研修に積極的に参加する ・常勤が中心となってOJTを行ない1人ひとりの意識を高めていく 	3～6ヶ月
3	33	終末期に向けた方向性・方針等がまだはっきりと定まっていない。	「グループホームにおけるターミナルケア」を全職員で学んでいく。	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の意向、希望等を把握していく ・ターミナルケアについて主治医とどこまで連携が取れ協力体制を築けるのかを検討していく ・看取りについてのスタッフの考え方を把握する ・以上の事をふまえ最終的に事業所としての方向性を決めていく 	3～6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。